

# 愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町 8-18

労働会館第2ビル

TEL 052-871-5433

発行人 阿部 精六

10月号 1995年10月31日

要求を総結集して成功させよう

## 11・19国民大集会

●とき 11月19日(日) ●ところ 東京・代々木公園  
●参加費 18,000円(新幹線往復・弁当・ゼッケン代)

# 雇用をまもり社会保障の拡充へ

## 「総対話」運動で広範な共同を

### 愛労連第13回定期大会



今年の定期大会は、①労働者の切実で多様な要求や不安・不満をともに考える「総対話」運動を提起したこと、②愛労連結成後六年が経過し運動が着実に前進

# すべての労働者の要求実現へ！

# 6年間の愛労連運動の前進に確信

愛労連第十三回定期大会は、九月二日から三日に名古屋市中村区の中村区役所ホールで開催されました。今回の定期大会では、全労連・愛労連運動の前進のもとで、すべての労働者を視野に切実で多様な要求をともに考え解決する「総対話」運動が提起・確認されました。

多く、運動も組織も多数派をめぐり決意がみなぎったことなどが特徴的でした。

「総対話」運動については「あらゆる矛盾の集中している職場・地域から労働者の切実で多様な要求や不安・不満をともに考え解決していく視点に立った自主的・創意ある運動」の具体的実践として位置づけて、年間を通じて追求することを提起しました。これは、全労連・愛労連結成大会で確認した「すべての労働者の要求実現」「すべての労働者・労働組合を総結集した運動」で、九一年以来、追求してきた「すべての労働者を視野にいたれた運動」をさらに発展させようとするものです。



討論では、単産二十八名・地域九名・青年四名・婦人二名の四十三名が積極的に発言し、愛労連の大会に始めて参加した代議員の「愛労連は職場にいると身近に感じないが、代議員の発言を聞いてみると、愛知

の働く人に勇気と展望を与えていると感じた」という発言や、サマーカーニバルに愛知から二四七名が参加して「青年の成長をかちとってきた。その後の青年部活動も活発になっている」などの発言は愛労連の運動の着実な前進を確認しあうものとなりました。

組織拡大では、多くの代議員から発言があり、「県民のなかに愛労連が見えるようにでっかく球場でもかき込みが表明されました。」と、十万人愛労連

達成のための積極的な提案や生協労連におけるパートの組織化、福保労での明治保育園分会の結成のとりくみ、「活動はつらいけど仲間が増えるのは最高のよさこびだ」と運輸一般が一年間で一四五名の組合員を拡大したとりくみ、青年協のサマーカーニバルのとりくみで未組織や未加盟組合へも参加をひろげたなど、運動と組織の前進をめざす各労働組合のとりくみと意気込みが表明されました。

### 96年度の新役員です よろしくお願ひします

- |                     |              |
|---------------------|--------------|
| 議長                  | 井上 利雄 (自治労連) |
| 副議長                 | 坂崎 進 (自治労連)  |
| 事務局長                | 加藤 瑠美子 (医労連) |
| 事務局次長               | 伊藤 精六 (全国一般) |
| 幹事                  | 永井 和彦 (自治労連) |
| 青 山 一 雄 (国公共闘)      |              |
| 栗 生 政 男 (岡崎・額田センター) |              |
| 鶴 野 武 (タクシー協議会)     |              |
| 牛 田 正 美 (全印総連)      |              |
| 梅 野 敏 基 (自治労連)      |              |
| 大 橋 路 代 (婦人協議会)     |              |
| 加 藤 勝 (名中センター)      |              |
| 河 井 孝 徳 (地域労組きずな)   |              |
| 北 畑 良 介 (検数労連)      |              |
| 国 村 忠 文 (全国一般)      |              |
| 駒 田 伝 雄 (年金者組合)     |              |
| 佐 藤 利 和 (全動労)       |              |
| 鈴 木 正 明 (愛建労)       |              |
| 谷 藤 賢 治 (運輸一般)      |              |
| 千 葉 祐 二 (東三河労連)     |              |
| 寺 田 英 明 (青年協議会)     |              |
| 根 村 浩 二 (JMIU)      |              |
| 平 出 暁 (福祉保育労)       |              |
| 平 田 茂 (尾中労連)        |              |
| 本 多 一 郎 (生協労連)      |              |
| 的 場 忠 則 (建設一般)      |              |
| 萬 木 康 弘 (愛高教)       |              |
| 土 屋 賢 一 (国公共闘)      |              |
| 水 田 清 一 (瑞穂労連)      |              |
| 山 田 喜 久 雄 (銀産労)     |              |

## すべての労働者を視野に職場・地域から「総対話」を！

# 雇用をまもり 社会保障の拡充へ



## 「総対話」運動はじまる

愛労連は秋年末闘争の中心課題である『総対話、解雇規制・雇用確保、社会保障改悪阻止』の成功をめざす学習会を、九月三十日に開催し、約六十名が参加しました。

講演では「社会保障運動の課題と展望」と題して、保険医協会の西村秀一氏が

「公的介護保障が高齢化社会をむかえ、国民の切実な要求になっている」と、政府・厚生省はこれを国民負担の介護保険方式で乗り切ろうとしている。ゴールドプランの進捗状況からいっても、必要なサービスを期待するのは無理。保険あつて給付なしの状況もまわれる。また、健保の本人二割負担や家族からの保険料徴収、老人医療負担の定額制から定率制への改悪など介護を口実に医療の総改悪を狙っている。賃金・雇用と社会保障は車の両輪。攻勢的・継続的に運動をすすめよう」と話されました。

また、全労連副議長の鴨川孝司氏からは「失業者や就職浪人、非正規労働者が増え、解雇規制や雇用保障がすべての労働者の切実な要求となっている。大企業の身勝手を許さず、労働時間短縮で雇用を保障し人間らしい労働を実現しよう。そのために解雇規制の署名・社会保障署名・春闘アンケートなどを活用し、すべての労働者・労働組合への『総対話』運動をすすめ、

## 県下のすみずみに五十万ビラを

秋年末闘争の第二次大量宣伝の五十万ビラ（全一千万）が到着し発送がはじまっています。

ビラはタブロイド版

「全組合員参加で総対話を」

「療問題」裏面が「雇用・反撃し、改悪を許さない解雇問題」を中心に実態や問題点をコンパクトに

「加盟労組や中立組合にも積極的の持ち込み」総対話の運動を展開しよう。

また、連合

## 6日間の座り込みで 労働部長 交渉が実現!

地労委1・2次座り込みに432人

「鈴木知事は差別労働行政を改め労働者委員会を公正に選べ」と地方労働委員会（地労委）の労働者委員の公正な選任を求める第一・二次県庁前座り込み行動が十月十一日から十三日、二十五日から二十七日で行われ、延べ四三二名が参加しました。

行動では連日、各組合・

「鈴木知事は差別労働行政を改め労働者委員会を公正に選べ」と地方労働委員会（地労委）の労働者委員の公正な選任を求める第一・二次県庁前座り込み行動が十月十一日から十三日、二十五日から二十七日で行われ、延べ四三二名が参加しました。

行動では連日、各組合・

## 安全で豊かな食糧は 日本の大地から!



おそろおそろキビの脱穀

### 第6回食糧メーデー

十月十四日、第6回あいち食糧メーデーが行われました。

会場になった名古屋市港区の港北公園には、おいしいにおいと煙が立ちこめ、新鮮で安全な野菜や果物などが並びました。ステージでは「これがおわりのホレバンド」や地元の高

十月十四日、第6回あいち食糧メーデーが行われました。会場になった名古屋市港区の港北公園には、おいしいにおいと煙が立ちこめ、新鮮で安全な野菜や果物などが並びました。ステージでは「これがおわりのホレバンド」や地元の高

六太鼓」のみなさんが、食や農業に関する創作曲を楽しく披露しました。

会場での、杵や千羽こぎでのきびや稲穂の脱穀や石臼による粉ひき体験は母子に人気がありました。会場からバスを出した輸入食品の県学ツアーは好評で、昨年より多くの参加がありました。また、水や木や健康、日本の食糧を考えるコーナーやパネル展示などが設けられ、食糧・農業・健康を考える楽しい一日となりました。

集会では、実行委員長の中島さんが「日本の豊かさは、これからの農業のゆくえで決まる。みんなで食と農業と健康をまもる運動を広げよう」と訴えました。

## 「サマカニ」から「サマセミ」へ! すてきな仲間と成長したい

第4回サマセミセミナー

遊んで、学んで、語りあつて、素敵な仲間を増やそう!と、十月二十一日から三日間、長野県の温泉で、「第4回サマセミナー（青年労働大学）」が五十一名の参加で開催されました。このとりくみは愛労連青年協や各単産青年部、愛知学習協などの実行委員会によるものです。

名古屋市職労青年部から初めて参加した村松麻衣子さんは「講義を聞いて、私は知らないことが多くて情けない。でも自分を責めるのではなく前向きに考えることの大切さも学びました」と、ちよつぱり成長したようです。最終日には、みんなで文章を出し合つて米兵の少女暴行事件への決議もあげました。



楽しい講義に目が輝きます

遊んで、学んで、語りあつて、素敵な仲間を増やそう!と、十月二十一日から三日間、長野県の温泉で、「第4回サマセミナー（青年労働大学）」が五十一名の参加で開催されました。このとりくみは愛労連青年協や各単産青年部、愛知学習協などの実行委員会によるものです。

名古屋市職労青年部から初めて参加した村松麻衣子さんは「講義を聞いて、私は知らないことが多くて情けない。でも自分を責めるのではなく前向きに考えることの大切さも学びました」と、ちよつぱり成長したようです。最終日には、みんなで文章を出し合つて米兵の少女暴行事件への決議もあげました。

### '96国民春闘スローガン・シンボルマーク募集

主催 国民春闘共闘委員会

●応募先 ①05 東京都港区新橋6-19-123 平和と労働会館4F  
96国民春闘共闘委員会事務局  
②03 (5401) 1945

●応募内容 96年の国民春闘にふさわしいスローガン②シンボルマーク。

●応募規定 官製はがき又ははがき大の用紙を使用。彩色せず。黒一色で描くこと。余白に住所、氏名、電話番号、組合名を明記。応募点数は①が1人3点まで②が1人1点。作品の返却は不可。

●応募資格 不問

●賞 入選各1点 10万円  
佳作各若干 1万円

●入選作品はポスター、「速報」、撤布などに採用し、ひろく活用します。

●締切 11月30日（当日消印有効）

●発表 12月中旬、入賞者に通知。また「国民春闘情報」にて紹介します。

●マークは95採塊の選入（福岡市）  
●上記の時福丸邦宏さん

## わが革新

骨太のロマンが全編にあふれる激動期の貴重な記録

### 成瀬昇著

愛知県議員 成瀬昇著

労働運動に生きて五十年

働く者を裏切らない信念。正義と革新への熱情。びくともしない中心軸をつらぬいて五十年。成瀬さんの骨太のロマンが全編にあふれ見事である。

三上 満 ●全労連議長

労働運動に生きて五十年

◆もくじ◆

- 1章 平和革命をめざして
- 2章 体験的社会的批判
- 3章 革新自治体の盛衰
- 4章 労働運動と政治改革はメダルの裏表
- 5章 変質の危機に立つ労働委員会
- 6章 人間の尊厳と国鉄の再生をかけた
- 7章 かくして戦争協力法が生まれた
- 8章 日本共産党を応援する3つの理由
- 9章 小選挙区制を葬りさるまで
- 10章 革新総連動が未来をひらく

定価1400円 (46判・240p・ズ)

合同出版 〒101東京都千代田区神田神保町1-52 TEL03 (3294) 3506 FAX 03 (3294) 3509